個人投資家さま向け
会社説明会資料

あなぶきアリーナ香川（香川県立アリーナ）
提供（公社）香川県観光協会

2025年12月11日

ひゃくじゅうしぎんこう
百十四銀行

（東証プライム：証券コード8386）

ご説明内容

- 百十四銀行について
- 決算ハイライトについて
- 企業価値の向上に向けて
- 株主還元について

ご説明内容

百十四銀行について

決算ハイライトについて

企業価値の向上に向けて

株主還元について

会社概要

百十四銀行

プロフィール

本店所在地	高松市亀井町5番地の1	資本金	373億円
創業	1878年11月1日	発行済株式数	28,630千株
総資産	5兆7,529億円	従業員数	1,978人
総預金	4兆7,922億円（譲渡性預金含む）	店舗数	133店舗
総貸出	3兆5,980億円 過去最高		

（2025年9月末現在）

歴史

旧本店（現 高松支店）

現在の本店ビル

- **1878年** 第百十四国立銀行として創業
  - 百十四番目の国立銀行として設立
- **1948年** 商号を㈱百十四銀行に変更
- **1966年** 本店を現在地へ移転
- **1973年** 東証一部上場
- **1978年** 創業100周年
- **2016年** 四国アライアンス締結
- **2022年** 東証プライム市場移行
- **2023年** 長期ビジョン2030策定
- **2025年** 野村證券との基本合意締結
- 2028年 創業150周年

四国アライアンス締結

野村證券との基本合意締結

香川県について

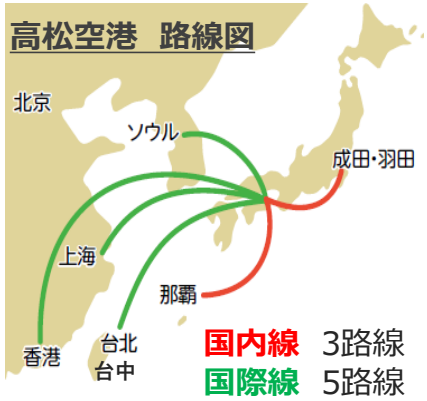
百十四銀行

国内外からの旅行者が増加傾向

国際線による旅客数

高松空港　**11位**/全国96空港

出典：東京航空局・大阪航空局「管内空港の利用概況集計表(2025年4月～9月)」



高松空港

国際線エリア拡張　インバウンド増加に対応
同時受入が2便から3便へ！（2027年オープン予定）

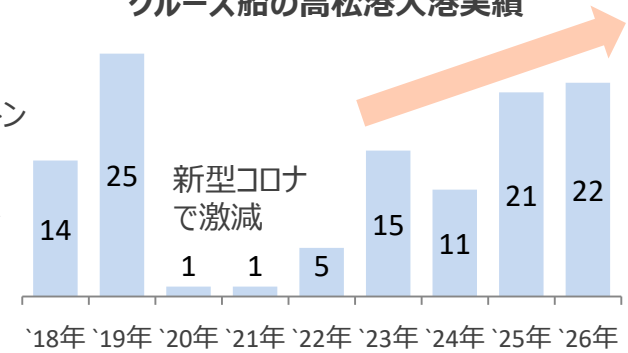
船舶による人の往来数

香川県　**3位**/全国　出典：国土交通省「港湾調査港湾統計(年報)2023」

高松港

- ✓ サンポート高松には5万トン級の船舶が接岸可能
- ✓ クルーズ船の入港実績は直近で増加！

クルーズ船の高松港入港実績



(出典：香川県　`26年は予定)

温暖で雨の少ない気候風土

オリーブの生産量

香川県　**1位**/全国
（全国シェア85%）

出典：香川県「統計で見る香川の農業・水産業」（2025年6月）

自然災害被害額

香川県　少ない方から**2位**/全国

出典：香川県「100の指標からみた香川（令和7年版）」

企業誘致（せとうち企業誘致100プラン）

自然災害の少なさを活かして、データセンター等を誘致！

（例）株式会社ハイレゾ（本社:東京）

中四国初の「AI開発用GPU専用データセンター（※）」を設置するため、2024年5月に香川県と立地協定を締結

総投資額約200億円で、香川県内に2拠点設置！

（※）GPUとは、大量のデータを処理できる半導体チップ。

香川県について

百十四銀行

あなぶきアリーナ香川
（香川県立アリーナ）

2025年2月オープン

- ✓ 収容人数1万人は中四国最大級で、有名アーティストのコンサートなど大型イベントを多数開催

高級ホテルの誘致
（マンダリン・オリエンタル・ホテル）

2027年の開業に向けて建設中

- ✓ 当行は地元事業会社等と共同で出資
- ✓ 観光客の増加に加え地元の雇用創出としても期待

トピック

2025年12月、香川県立アリーナが **「世界で最も美しいアリーナ2025」の「ベルサイユ賞」（最優秀賞）を受賞！**（※）

（※）毎年、世界の優れた建築物等を表彰する賞で、アリーナ部門では香川県立アリーナを含む世界の6施設が選出

瀬戸内国際芸術祭2025

2010年から3年毎、今回が6回目の開催

- ✓ 2025年総来場者数**108万人**
- ✓ 前回2022年の開催から**36万人増加**！

かがわマラソン2026

2026年3月に初開催

- ✓ 香川県初のフルマラソン大会
- ✓ 当行はゴールドパートナーとして協賛

国内外の観光客を惹きつける讃岐うどん

「じゃらん観光国内宿泊旅行調査2025」

総合満足度　1位/全国

総合満足度	
1位	**香川県**
2位	沖縄県
3位	長崎県

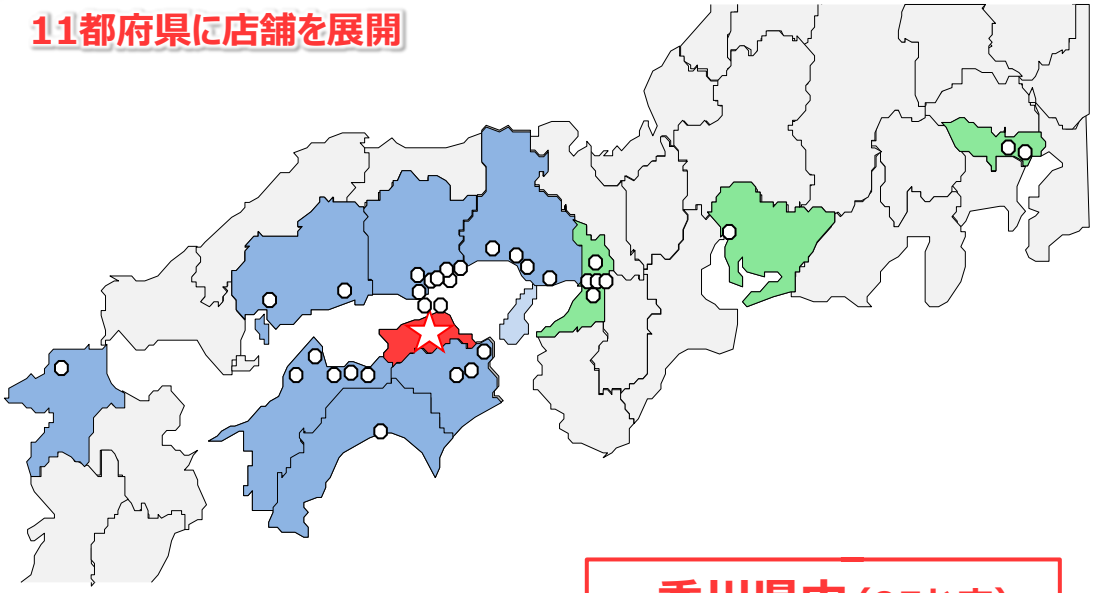
出典：
「じゃらん観光国内宿泊旅行調査2025」
（リクルートじゃらんリサーチセンター調べ）
（調査期間
2025年4月1日
～2025年4月22日）

百十四銀行の特色（歴史ある広域店舗展開）

百十四銀行

店舗所在地

11都府県に店舗を展開



香川県内（95か店）

広域瀬戸内圏（30か店）

岡山県　13カ店　兵庫県　4カ店
愛媛県　5カ店　広島県　2カ店
徳島県　3カ店　福岡県　1カ店
高知県　2カ店

大都市圏（8か店）

東京都　2カ店
愛知県　1カ店
大阪府　5カ店

※広域瀬戸内圏　[愛媛県、徳島県、高知県、岡山県、兵庫県、広島県、福岡県]
※大都市圏　[東京都、愛知県、大阪府]
（店舗内店舗・クイックスクエア・コンサルティングプラザ含む　2025年9月末時点）

出店時期

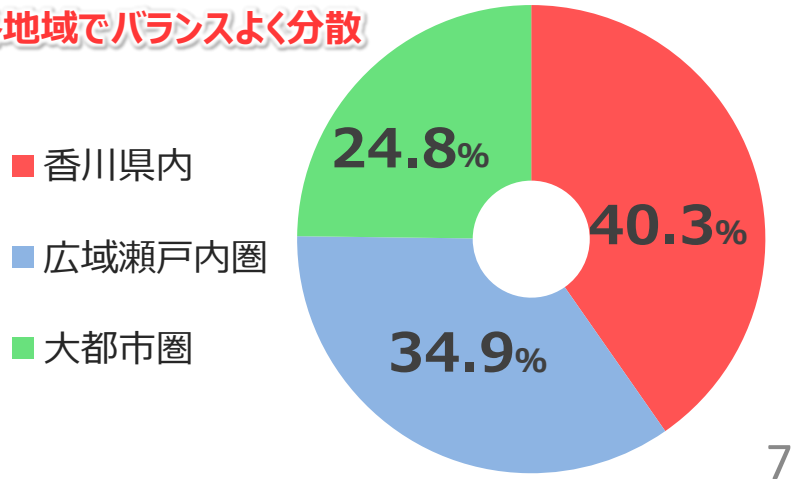
古くから各地域に根差した営業を展開

開設年	支店名
１９５０年	大阪支店
１９５２年	岡山支店
１９５２年	東京支店
１９５８年	広島支店
１９６１年	神戸支店
１９６４年	名古屋支店

地域別の貸出金割合

（2025年9月末）

各地域でバランスよく分散



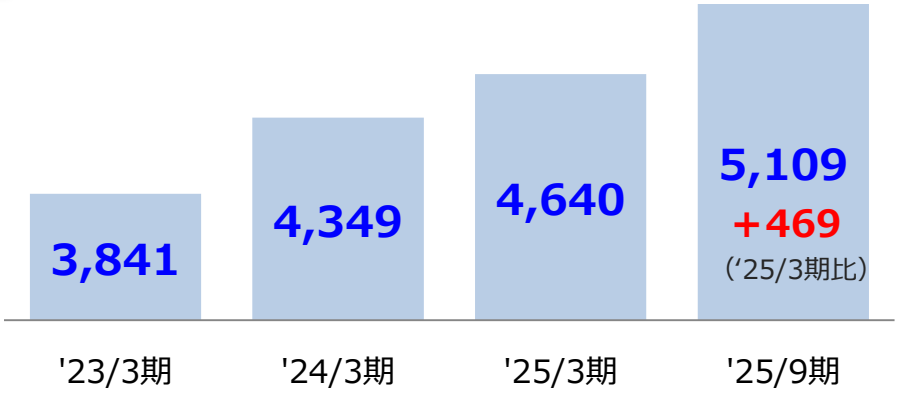
百十四銀行の特色（シップファイナンス・国際業務）

百十四銀行

- 瀬戸内は世界的な海事産業の集積地であり、古くからシップファイナンスに取り組んでいます。
- 外国為替売買益などの国際業務は、地方銀行でトップ水準です。

海事産業関連貸出

（期末残高、単位：億円）



シップファイナンス残高ランキング

国内の地方銀行
7位

世界の銀行
38位

出典：シップファイナンス主要40行のランキング
2024年12月末時点
（日本海事新聞ニュース 2025年7月14日）

国際業務

外国為替売買益（※）	19億円（2025年9月期）	国内の地方銀行 **3位**
外貨預金	1,372億円（2025年9月期平均残高）	国内の地方銀行 **9位**
国際業務貸出	3,867億円（2025年9月期平均残高）	国内の地方銀行 **12位**

※主に為替予約や為替デリバティブなど外国為替取引に伴う収益

※上記の順位は2025年3月期実績基準

ご説明内容

百十四銀行

百十四銀行について

決算ハイライトについて

企業価値の向上に向けて

株主還元について

2026年3月期第２四半期実績および見通し

百十四銀行

- 親会社株主に帰属する当期純利益は、第2四半期基準で2期連続の増収増益となりました。
- 2026年3月期の通期見通しを175億円へ上方修正し、過去最高益を更新する見込です。

単体決算

（単位：億円）

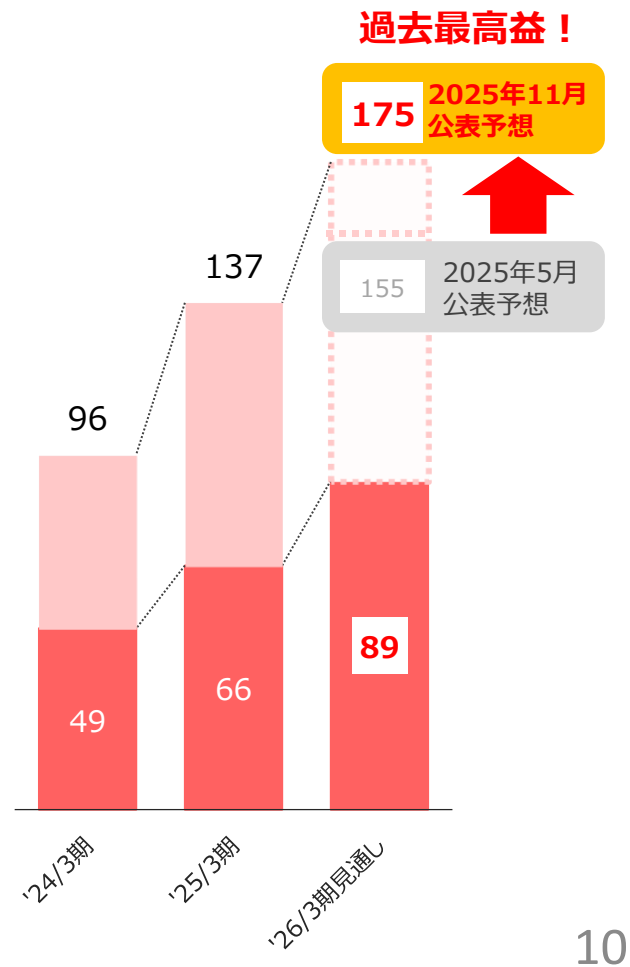
	【第2四半期】			【通期】		見直し前	見直し後
	'24/3期 第2四半期	'25/3期 第2四半期	**'26/3期 第2四半期**	'24/3期	'25/3期	'26/3期 見通し	**'26/3期 見通し**
経常収益	358	374	**450**	735	813	880	**900**
コア業務粗利益 （注1）	242	265	**289**	500	538	590	**610**
資金利益	185	205	**244**	381	419	470	**485**
役務取引等利益	33	32	**35**	69	66	79	**75**
その他業務利益（除く債券関係損益）	23	26	**24**	49	52	40	**45**
うち外国為替売買益	17	30	**19**	37	54	45	**45**
経費	160	160	**173**	321	328	346	**355**
コア業務純益 （注2）	82	104	**130**	179	210	244	**255**
経常利益	68	93	**128**	132	185	224	**250**
当期純利益	46	62	**85**	88	128	145	**165**

連結決算

	'24/3期 第2四半期	'25/3期 第2四半期	**'26/3期 第2四半期**	'24/3期	'25/3期	'26/3期 見通し	**'26/3期 見通し**
経常収益	400	417	**493**	821	900	985	**1,000**
経常利益	74	100	**135**	145	199	241	**265**
親会社株主に帰属する当期純利益	49	66	**89**	96	137	155	**175**

（注１）コア業務粗利益＝資金利益＋役務取引等利益＋その他業務利益（除く債券関係損益）
（注２）コア業務純益＝コア業務粗利益－経費

親会社株主に帰属する当期純利益 （単位：億円）



貸出金の状況

単体

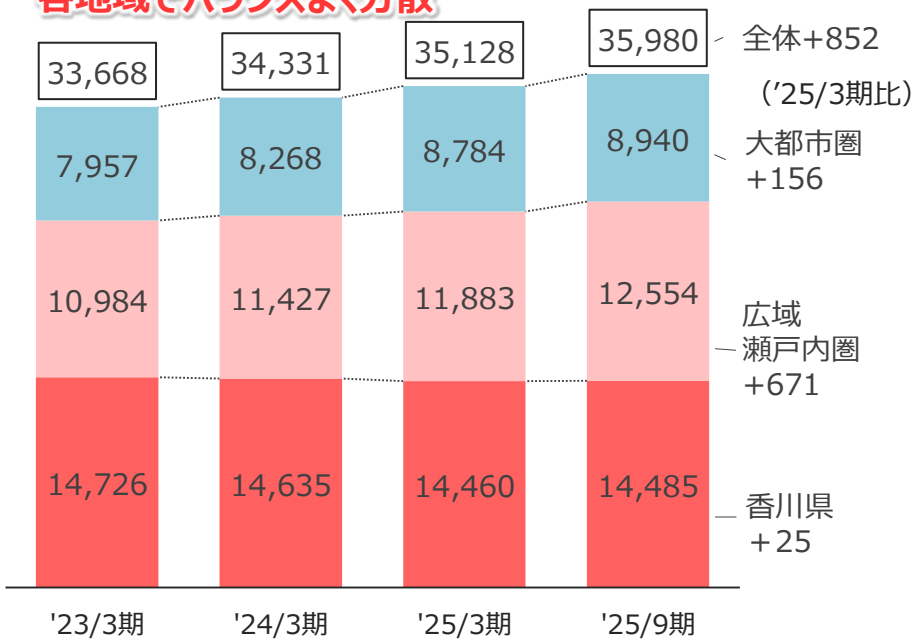
百十四銀行

- 残高は広域瀬戸内圏の増加により、全体で3兆5,980億円となりました。
- 利回りは円貨貸出金の上昇により、全体で1.26%となりました。

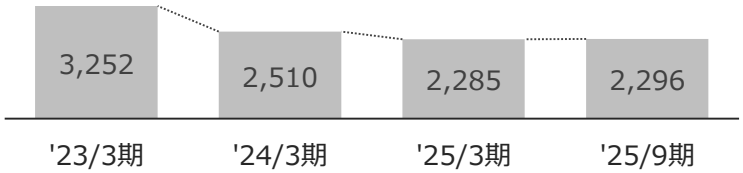
地域別の期末残高

（単位：億円）

各地域でバランスよく分散



<参考> 公共向け貸出の推移



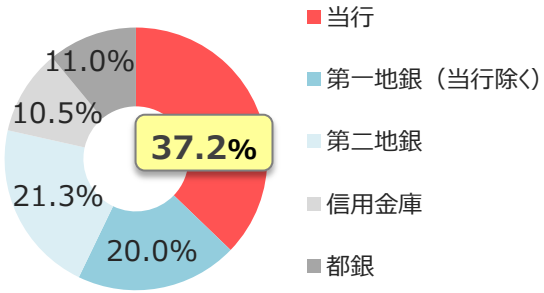
大都市圏　[東京都、愛知県、大阪府]

広域瀬戸内圏　[愛媛県、徳島県、高知県、岡山県、兵庫県、広島県、福岡県]

業態別の香川県内シェア

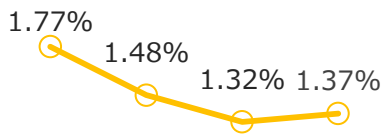
（2025年9月末）

香川県内シェアは約4割

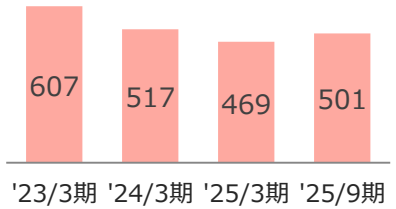


不良債権の状況

【開示不良債権比率】

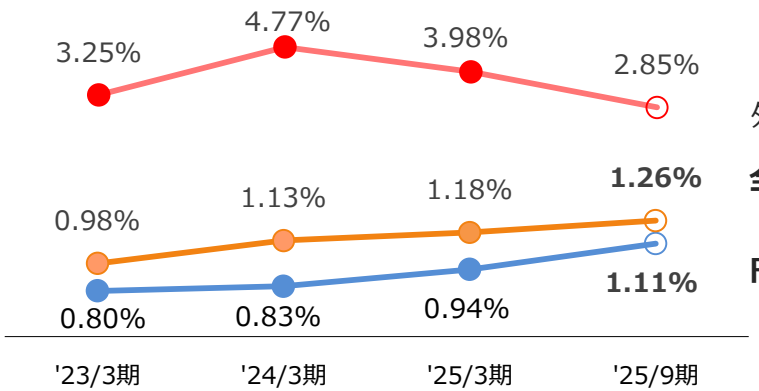


【開示不良債権残高】（単位：億円）



貸出金利回り

貸出金利回りは順調に上昇



（'25/3期比）

外貨△1.13pt

全体＋0.08pt

円貨＋0.17pt

金利上昇の影響

単体

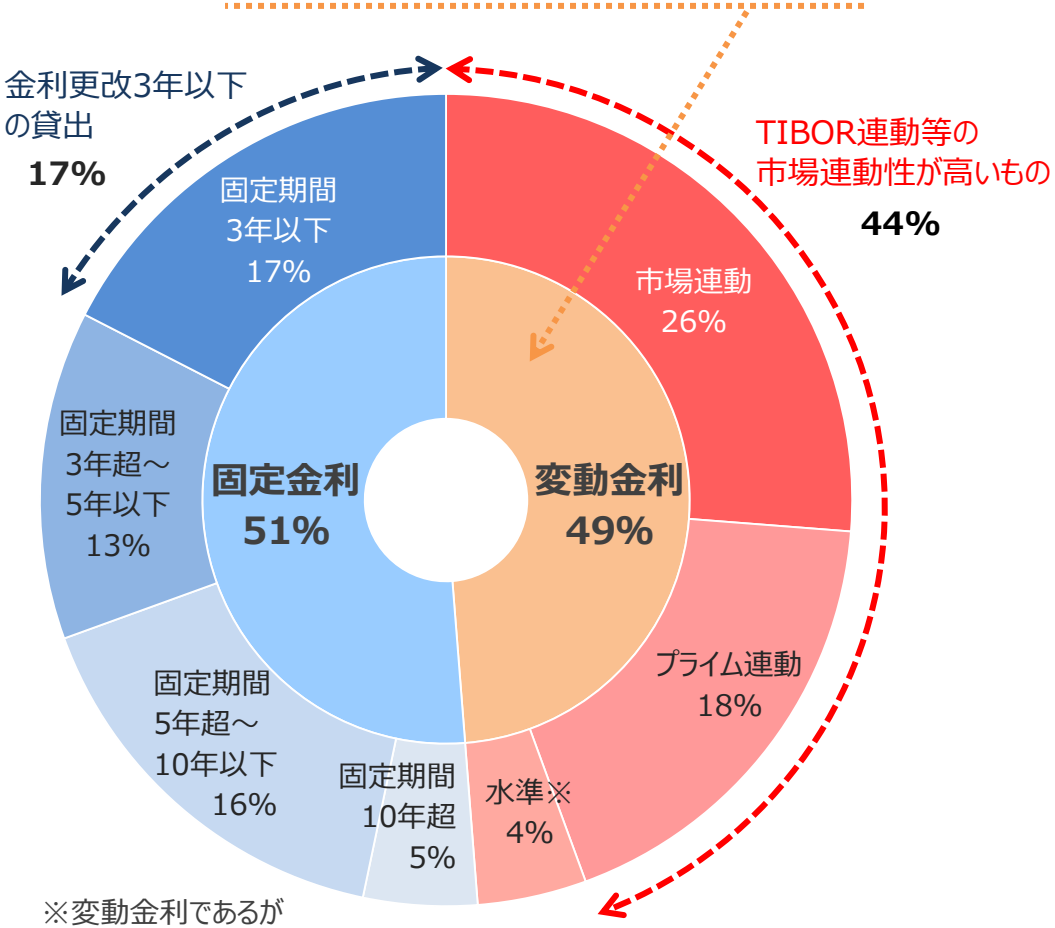
百十四銀行

● 金融政策の変更を踏まえ、貸出金利引上げによる収益力の向上を図っていきます。

円貨貸出金の金利別内訳

2025年9月末　円貨貸出金残高 3兆2,738億円

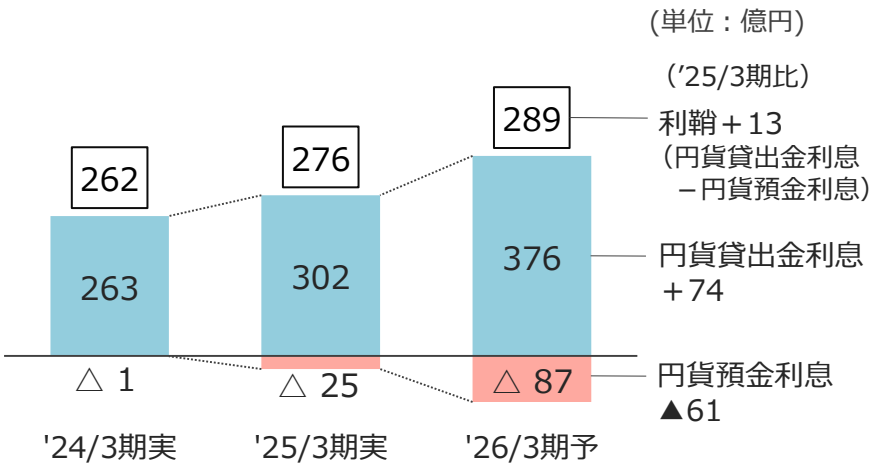
変動金利の割合は2024年9月末比で約3%増加



※変動金利であるが
自動的に変動しない貸出

円金利上昇による影響試算

【円貨貸出金利息・円貨預金利息】



＜試算の前提＞

	'24/3期末	'25/3期末	'26/3期末
政策金利	0.100%	0.500%	0.750%
3M TIBOR	0.261%	0.829%	1.000%
当行　短プラ	1.975%	2.375%	2.625%
当行　普通預金金利	0.001%	0.200%	0.300%

総預金の状況

単体

百十四銀行

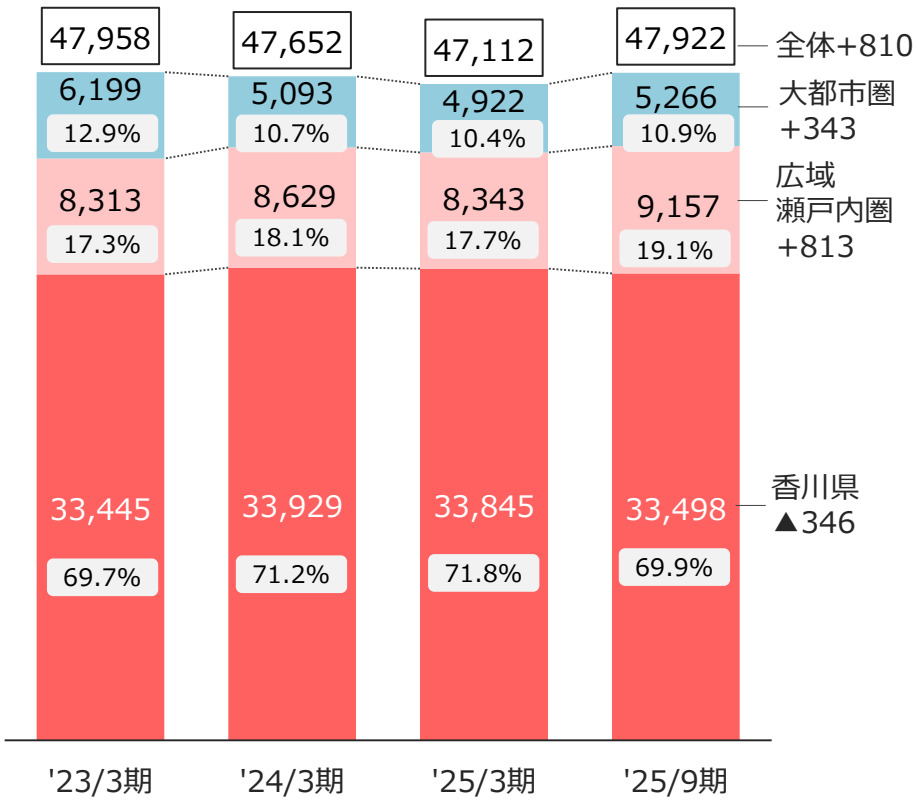
- 残高は広域瀬戸内圏の伸びにより、4兆7,922億円となりました。

地域別の期末残高

香川県が約7割と安定した基盤を維持

（単位：億円）

（'25/3期比）



※ ［　　］は地域別の比率

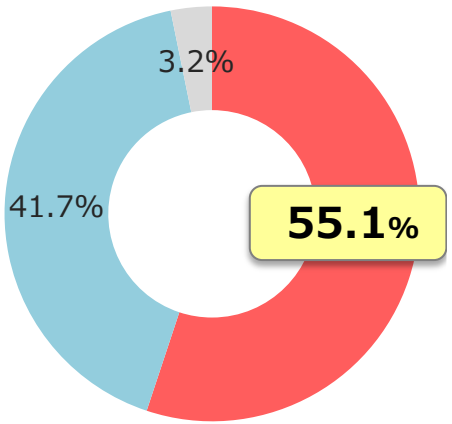
大都市圏　［ 東京都、愛知県、大阪府 ］

広域瀬戸内圏　［ 愛媛県、徳島県、高知県 、岡山県、兵庫県、広島県、福岡県 ］

顧客別の預金シェア

（2025年9月末）

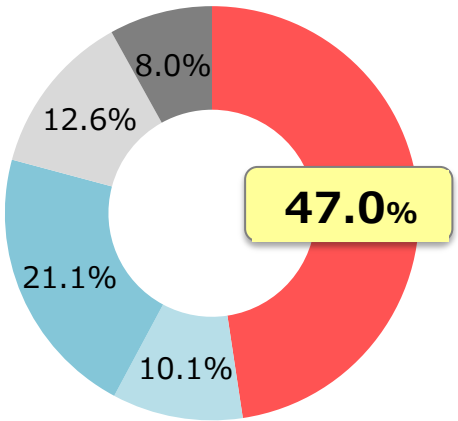
個人預金が約6割



業態別の香川県内シェア

（2025年9月末）

香川県内シェアは約5割



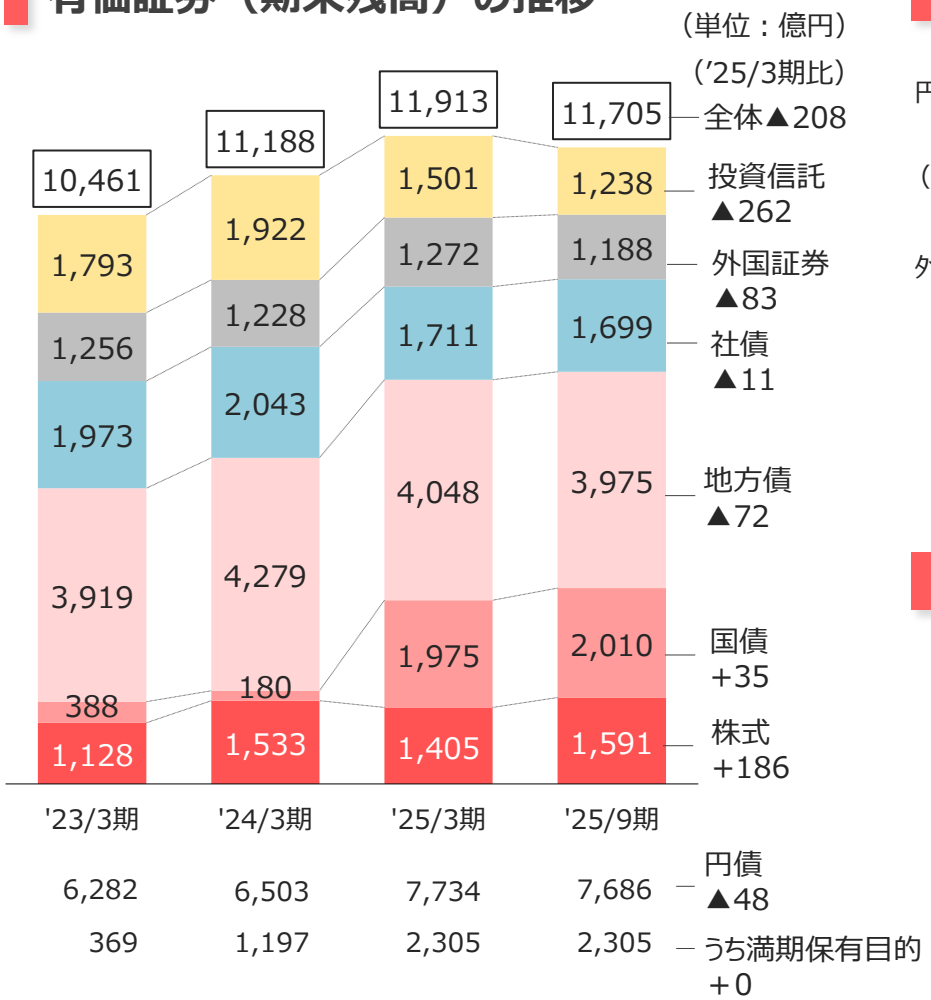
有価証券運用の状況

単体

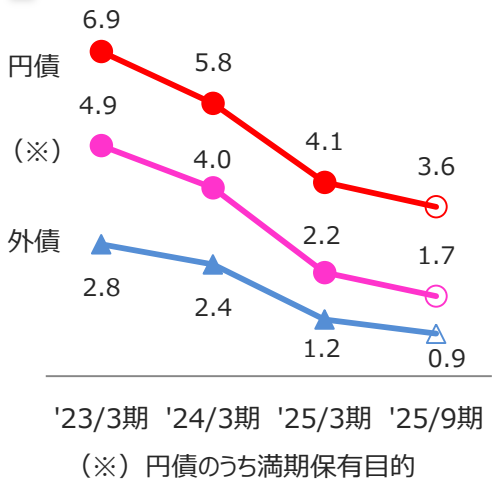
百十四銀行

- 円債・外債ともに修正デュレーションは短期化し、利回りは改善しております。
- 有価証券評価損益は、全体で774億円の含み益となっております。

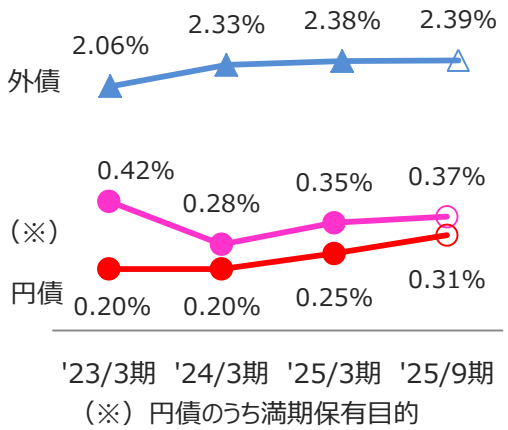
有価証券（期末残高）の推移



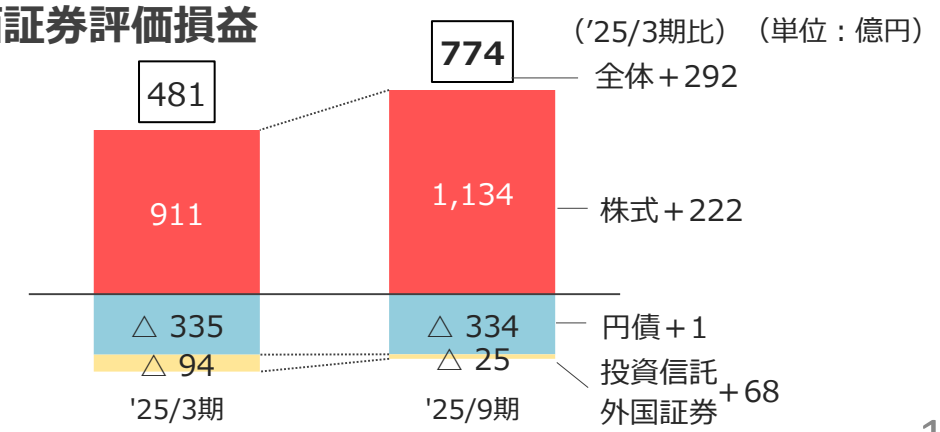
修正デュレーション



利回り



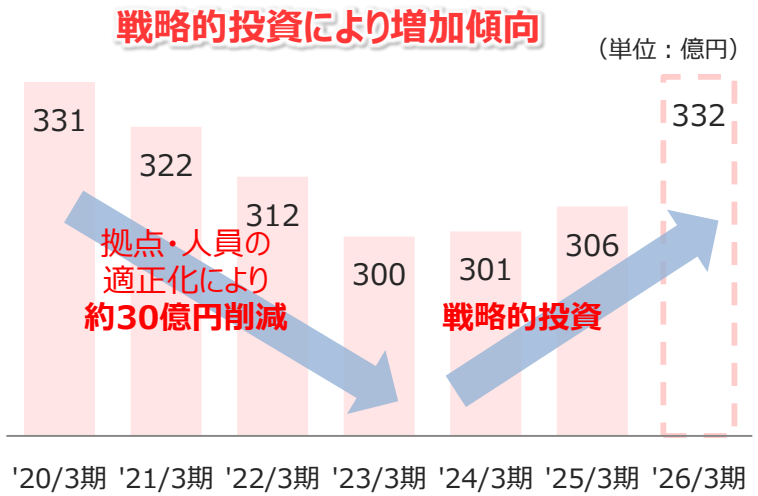
有価証券評価損益



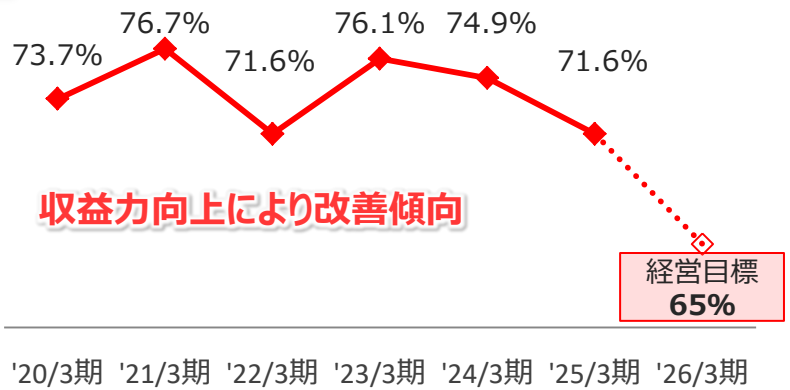
経費・OHR、自己資本比率および外部格付

百十四銀行

経費（物件費・人件費）



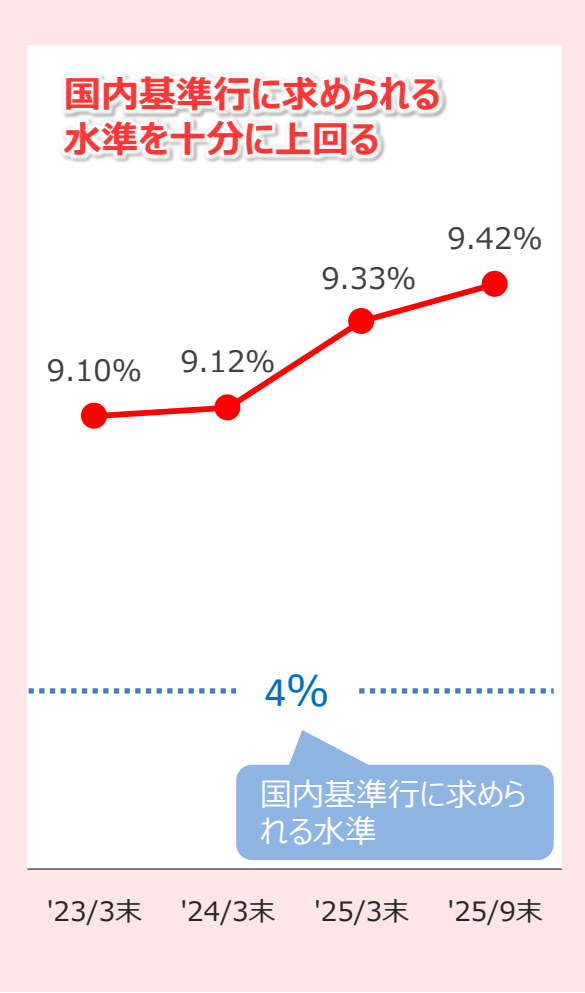
OHR（物件費・人件費）



OHR=経費÷（コア業務粗利益＋債券関係損益）

連結自己資本比率の状況

（国内基準）



外部機関による格付

**健全性が高く評価され
A格を取得**

**日本格付研究所
（JCR）**

長期発行体格付

**格付投資情報センター
（R&I）**

発行体格付

（2025年11月現在）

ご説明内容

百十四銀行

百十四銀行について

決算ハイライトについて

企業価値の向上に向けて

株主還元について

百十四銀行

中期経営計画「創ろう¹ィ·¹イ·⁴ヨ♪」（2023年4月～2026年3月）

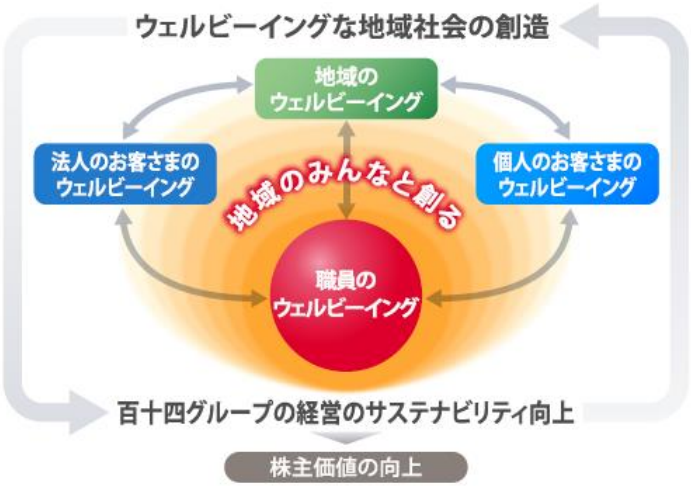
■重点戦略

1．総合コンサルティング·グループの進化

2．職員のウェルビーイング向上

3．生産性の飛躍的向上

4．持続可能な経営基盤の構築



■経営目標

		`24年3月期（1年目·実績）	`25年3月期（2年目·実績）	`26年3月期(最終年度) 経営目標 `24年11月見直し後	計画 `25年5月公表	計画 `25年11月公表
収益性	親会社株主に帰属する当期純利益	96億円	137億円	135億円以上	155億円	**175億円**
健全性	連結自己資本比率	9.12%	9.33%	9.0%程度	9.0%程度	9.0%程度
効率性	単体OHR（※）	74.9%	71.6%	65%程度	65%程度	65%程度

（※）経費÷（コア業務粗利益+債券関係損益）

企業価値の向上に向けて①

百十四銀行

- ROEは5%を通過点として、資本コストを上回る水準をめざします。
- ROE向上、PER向上により、企業価値（PBR）の向上をめざします。

ROE

親会社株主に帰属する当期純利益 ／ 純資産

×

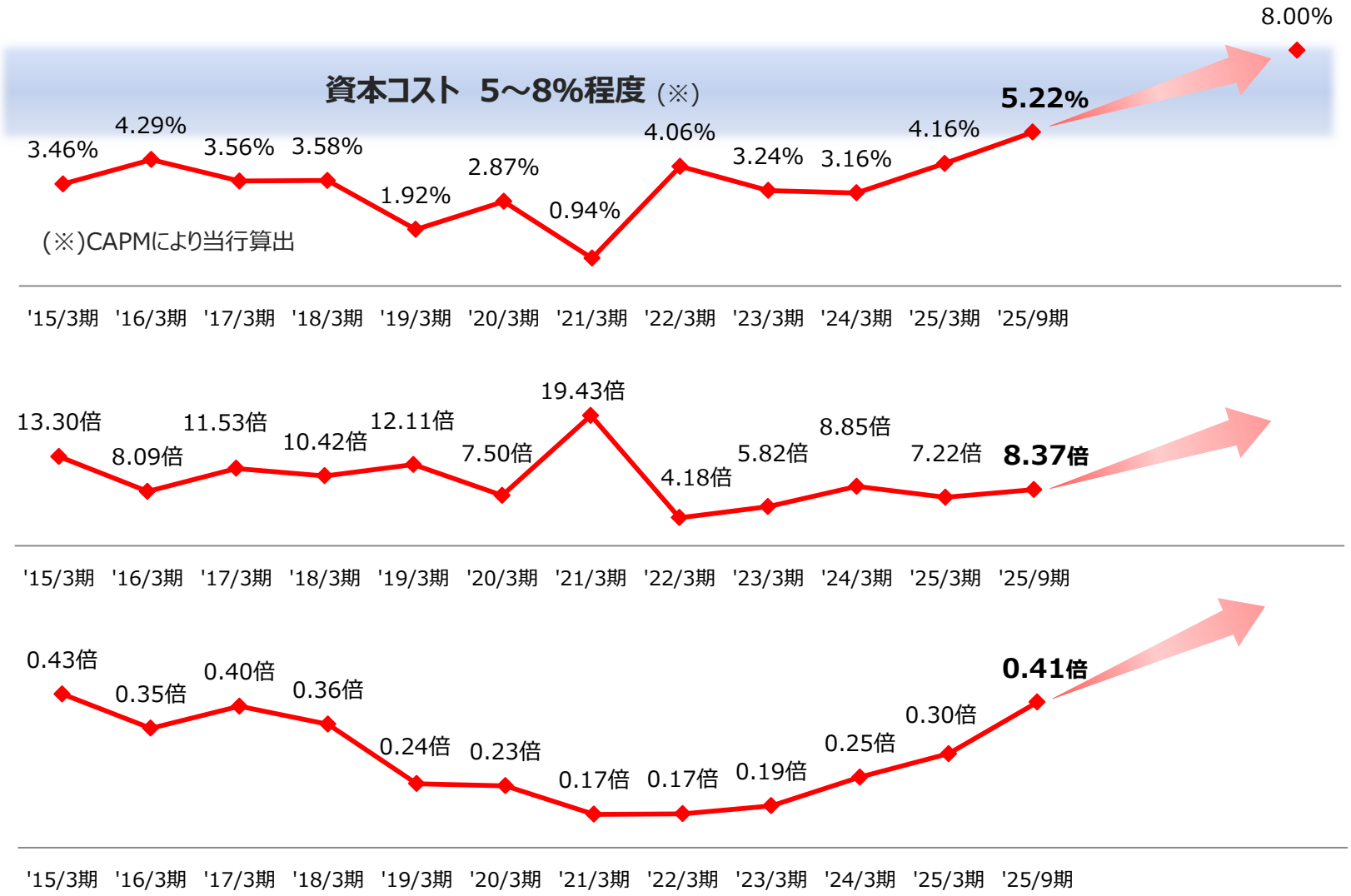
PER

時価総額 ／ 親会社株主に帰属する当期純利益

||

PBR

時価総額 ／ 純資産

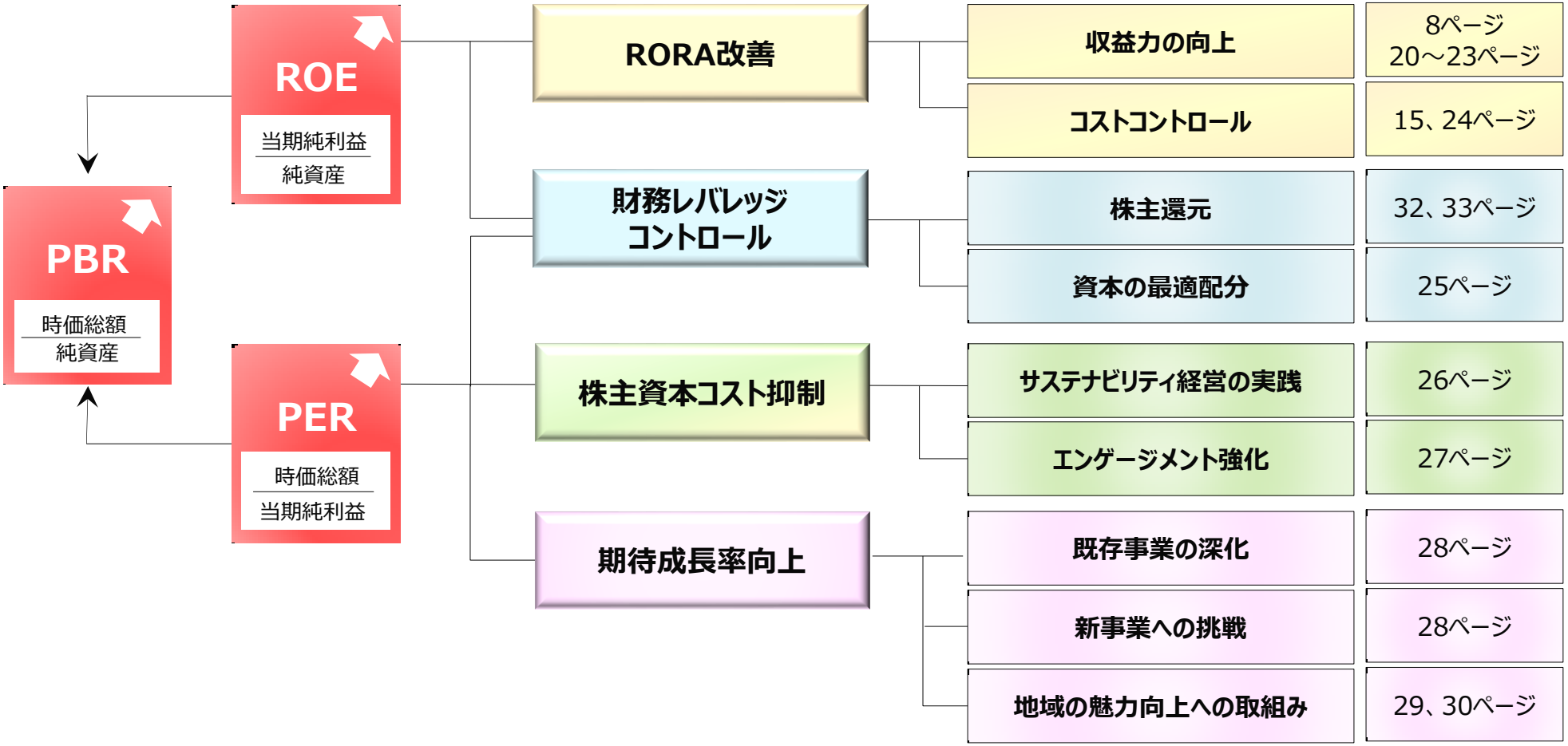


企業価値の向上に向けて②

百十四銀行

- 企業価値（PBR）の向上に向けて、ROE、PER改善に紐付く施策を着実に進めてまいります。

企業価値向上に向けたロジックツリー



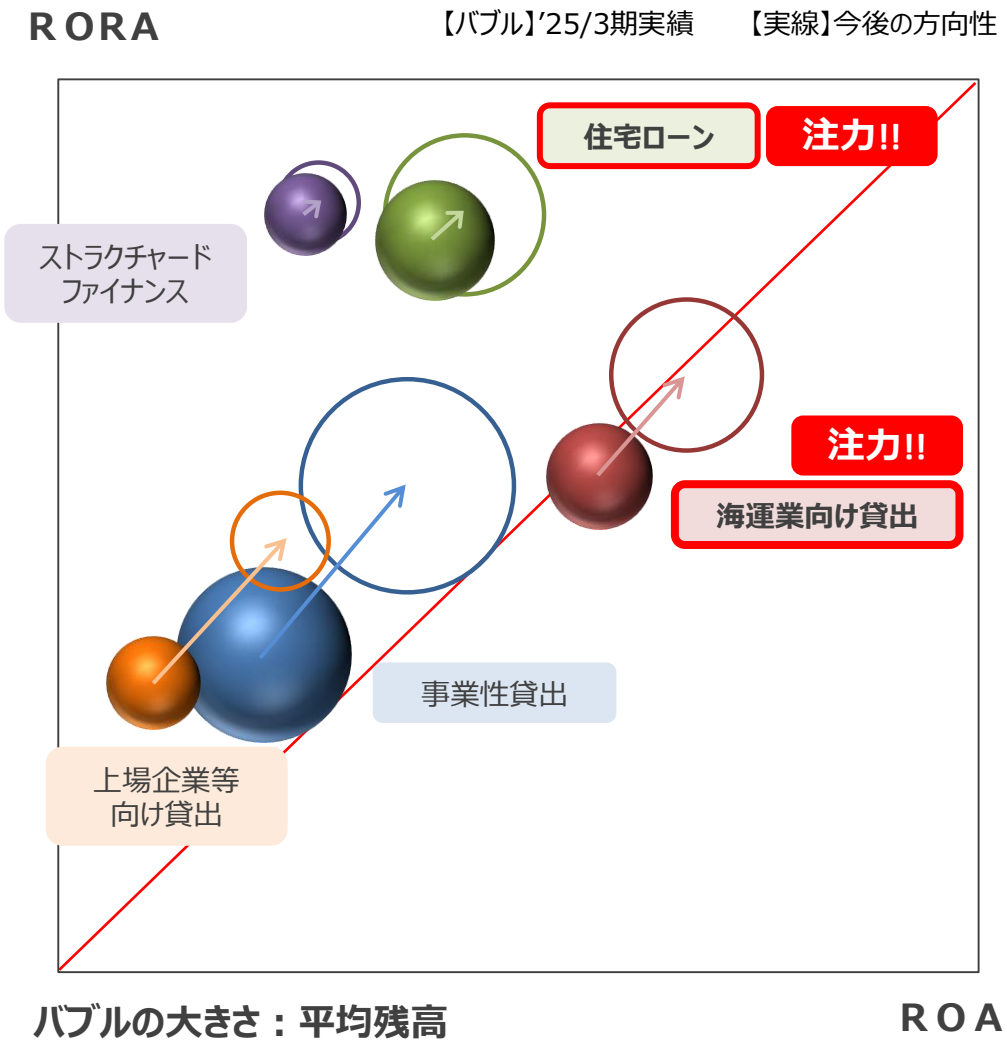
収益力の向上 -RORAを意識した取組み-

RORA改善

百十四銀行

- 「金利のある世界」において、RORAを意識した取組みを強化し、収益力向上を図ります。

主なセグメント別RORAの方向性



RORAを意識した貸出強化

RORA（Return on Risk Asset）とは、
利益÷リスク資産で算出される、リスクに対する収益性の指標

＜RORA（※）＞	'24/3期 実績	'25/3期 実績	'26/3期 目標
貸出全体	1.26%	1.31%	1.40%以上
うち事業性貸出	1.09%	1.17%	1.30%以上

（※）RORA＝（貸出金利息－預金利息）÷リスクアセットにて算出

ROE向上

- ✓ 調達コスト上昇を意識した利回りの確保に努め、リスクリターンに留意しつつ残高を強化
- ✓ 住宅ローン・海運業向け貸出はRORAが高く、注力分野として積極的に取り組む

収益力の向上 -法人コンサルの進化-

RORA改善

百十四銀行

● 取引先のニーズの高い分野に注力しており、法人コンサルの受注件数及び収益は順調に増加しています。

法人コンサルティング分野

コンサルティング領域

- 事業承継・M&A
- 人材紹介・人事制度
- ICT
- 経営
- 海外進出

ソリューション領域
ビジネスマッチング等の収益

ファイナンス領域
シンジケートローン等の
ファイナンスに係る収益

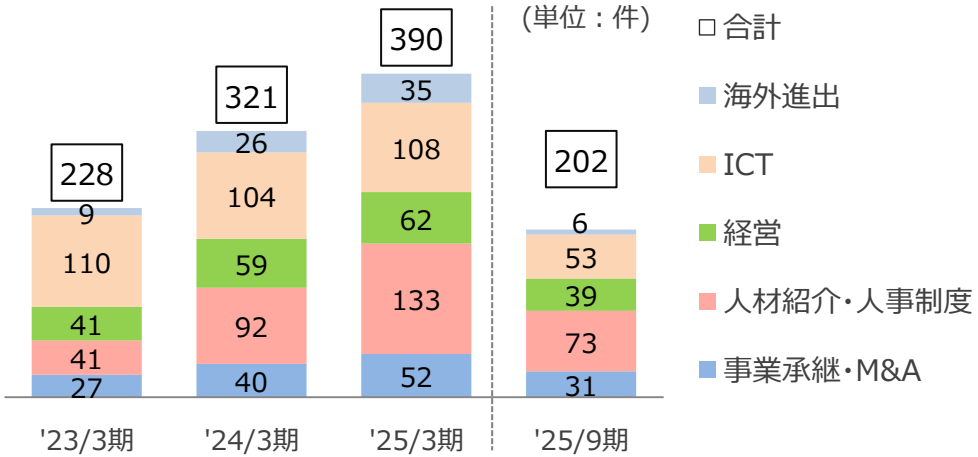
トピック（海外進出支援）

■HBCV※1が「優秀FDI企業2025※2」トップ20に！

✓ HBCVによる日本企業とベトナム企業をつなぐビジネス支援が評価され、「優秀FDI企業2025」トップ20にランクイン（2025年9月）

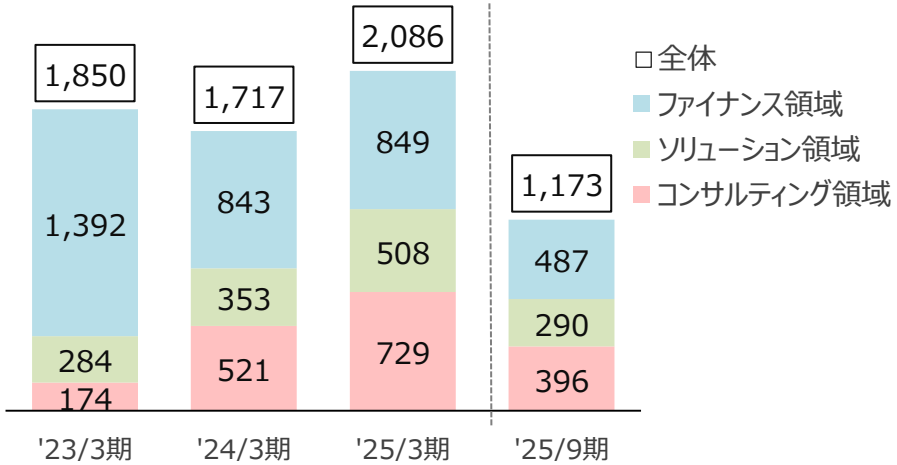
※1：ベトナムのコンサルティング現地法人
（HYAKUJUSHI BUSINESS CONSULTING VIETNAM COMPANY LIMITED）
※2：ベトナムに進出する外国直接投資（FDI）企業の中から経済や雇用、社会貢献などへの取組みを総合的に評価し、特に優れた企業20社に贈られるもの

法人コンサルティング（コンサルティング領域）受注件数



法人コンサルティング収益

(単位：百万円)

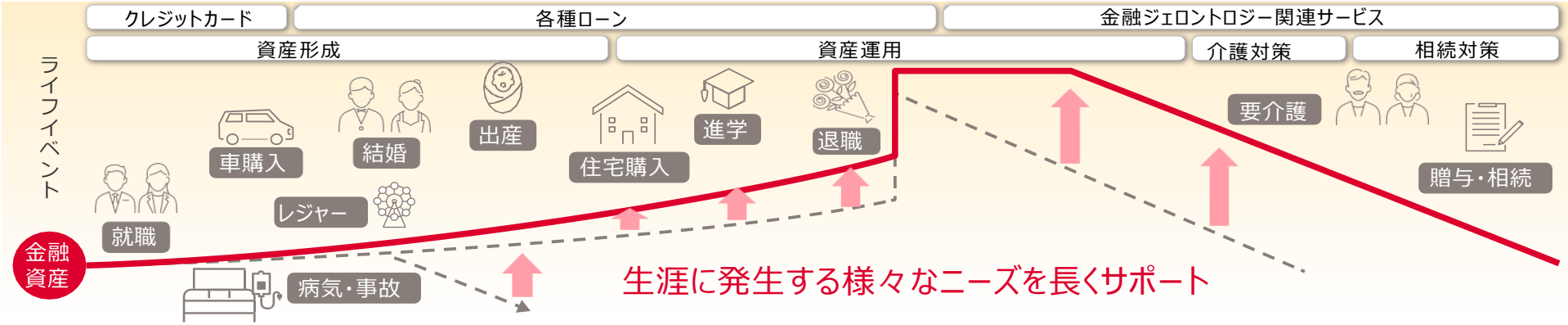


収益力の向上 -個人コンサルの進化①-

RORA改善

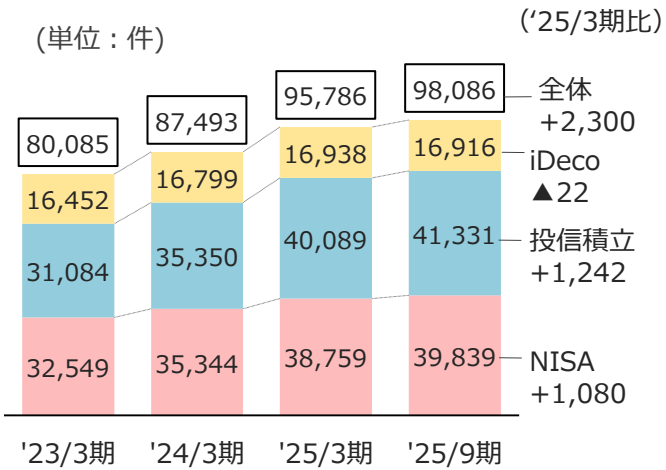
百十四銀行

- 人生100年時代において、お客さまが将来に不安なく生活できるようサポートしてまいります。



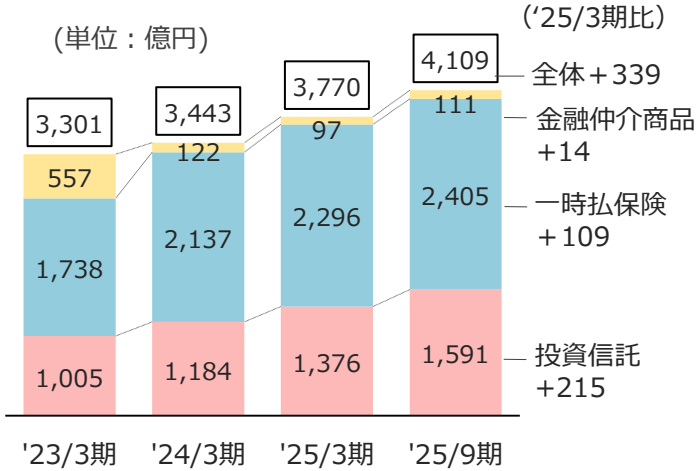
預り資産契約数（積立）

✓ 資産形成層のニーズが高い積立商品の契約件数が増加



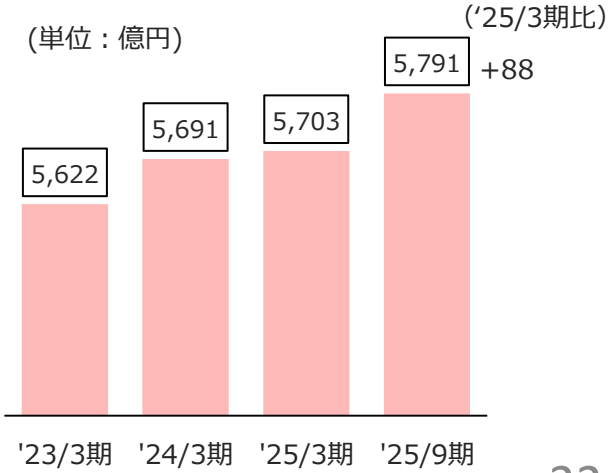
預り資産残高

✓ 新NISAを活用した投資信託や一時払保険が増加



住宅ローン残高

✓ 家計収支や保険のご相談等を起点に住宅ローンが増加



収益力の向上 -個人コンサルの進化②-

RORA改善

百十四銀行

野村証券株式会社との金融商品仲介業務における包括的業務提携に関する基本合意（2025年3月）

■提携の背景と効果のイメージ

香川県
✓ 1世帯当たりの預貯金残高 全国4位
※香川県「100の指標からみた香川（令和7年版）」

香川県
✓ 家計資産のうち有価証券の割合が低い

当行

- 地域での強固な営業基盤（香川県内の預金シェア47.0%）
- 総合コンサルティング・グループの進化（お客さまのライフプランに伴走）
- 地域からの期待に応えるため更なる高度化が必要

金融商品仲介業務における包括的業務提携

野村證券

- 専門的なノウハウ
- 多様な商品・サービス
- コンサルティング機能

双方の強みを最大限に活かすことで地域の隅々にまで良質なコンサルティングを提供

【今後のスケジュール】

2026年3月期中	本提携の最終合意をめざす
2027年3月期中	本提携による新体制開始をめざす

地域・お客さまのウェルビーイング向上

～お客さまのファイナンシャル・ウェルネス実現～

成長投資

RORA改善

百十四銀行

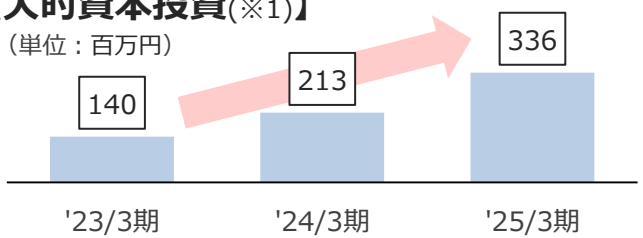
● 人的資本投資やDX投資等、戦略的な成長投資を積極的に行っています。

人的資本への投資

✓ 専門人材の育成、リスキリング等への投資の強化に加え、3年連続のベースアップや初任給の引上げを実施

【人的資本投資(※1)】

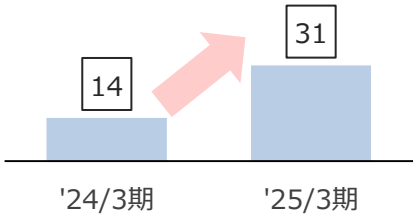
（単位：百万円）



※1　教育研修費、長期研修参加者人件費等

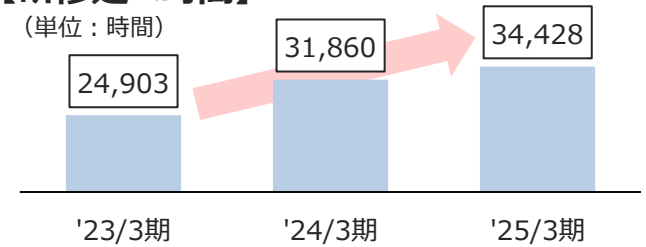
【114リスキリングサポート(※2)利用者数】

（単位：名）　※2　'24/3期より開始



【研修延べ時間】

（単位：時間）

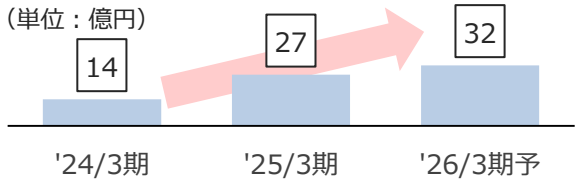


DX投資

✓ 2024年4月に設置した「デジタルイノベーション部」を中心に、非対面チャネルの充実、店舗・業務のデジタル化等を推進

【システム関連投資額】

（単位：億円）

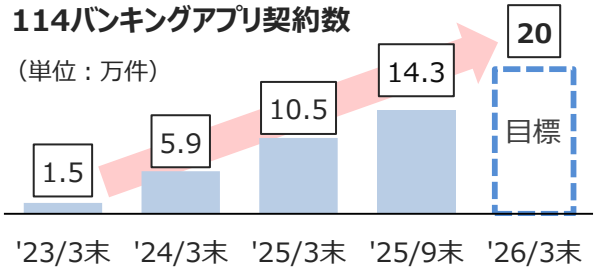


【非対面チャネル（個人向け）】

✓ 「114バンキングアプリ」は個人向け非対面チャネルの中核ツールとして機能を拡充

114バンキングアプリ契約数

（単位：万件）



ダウンロードはこちらから

【生成AIの活用】

✓ 行内の業務効率化に向け、2025年8月に「生成AIチャットツール」を導入

【非対面チャネル（法人向け）】

✓ 取引デジタル化を支援する機能を備える会員用ウェブサイト「法人ポータル」を開発中

法人ポータルの期待役割

大企業 中堅企業	CXの向上
中小企業	対面営業と融合した価値提供
零細企業 個人事業主	デジタルを活用した取引の合理化

政策保有株式

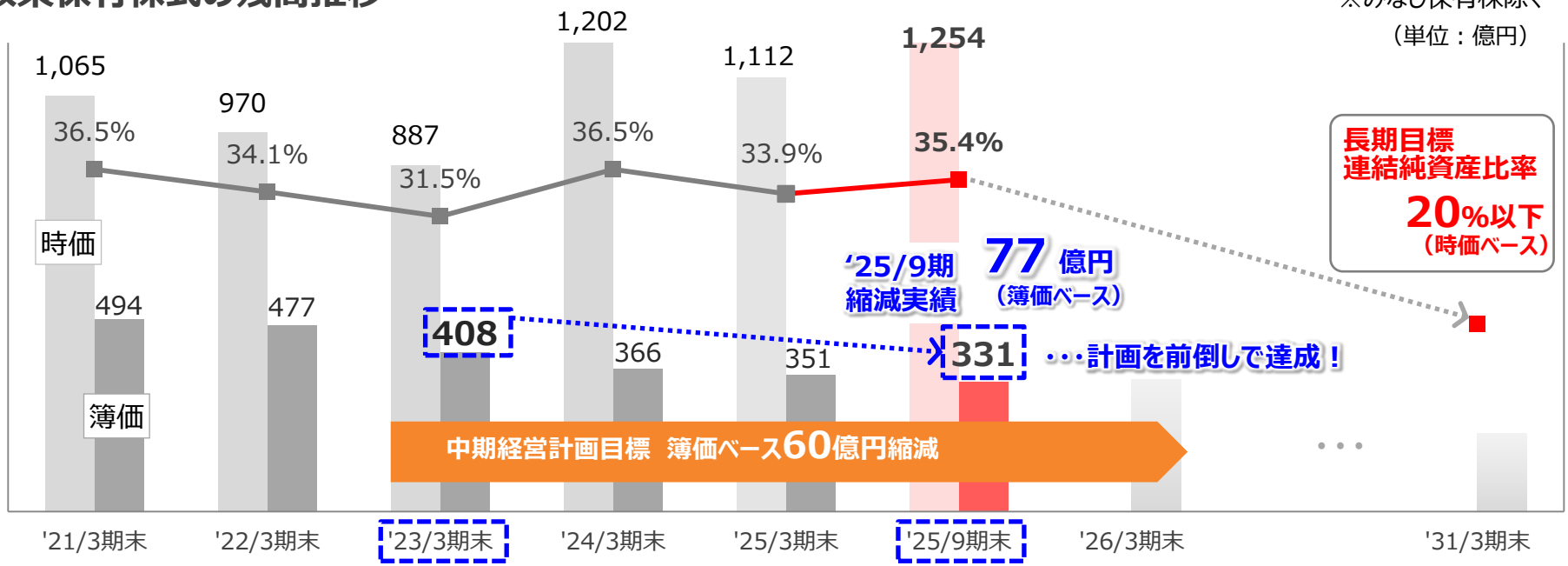
財務レバレッジ
コントロール

百十四銀行

- 中期経営計画期間中の縮減計画を、2025年9月末に前倒しで達成しました。
- 2030年度末までの時価ベース縮減目標に向け、さらに縮減ペースを加速させていきます。

政策保有株式の残高推移

※みなし保有株除く
（単位：億円）



純投資目的である投資株式

✓ 純投資目的の投資株式も、資本効率やコーポレート・ガバナンスの観点から経済合理性を勘案しつつ、順次、縮減を進めます。

■純投資目的である投資株式※残高推移

※純投資目的である投資株式は全て上場株式

	’22/3期末	’23/3期末	’24/3期末	’25/3期末	前期比
銘柄数	27	26	33	24	△9
時価（億円）	198	219	307	268	△39
売却金額（億円）	61	74	61	119	＋58

サステナビリティ経営の実践

株主資本コスト抑制

百十四銀行

● 持続可能な地球環境や社会の実現に向けた取組みを行っております。

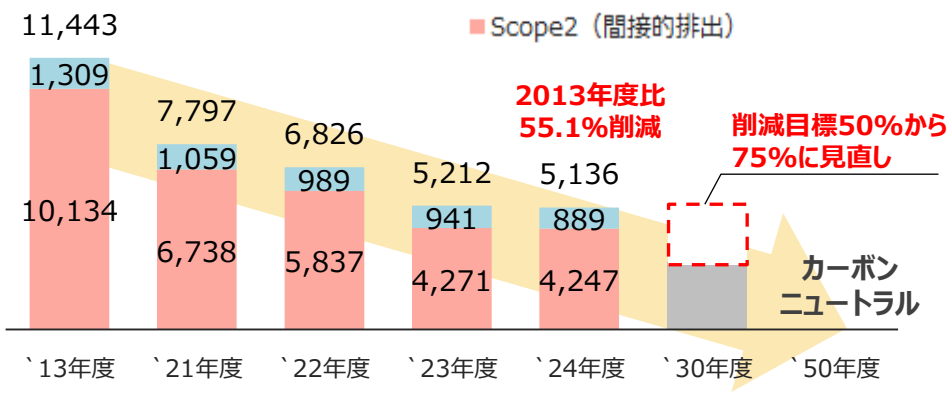
CO2排出量の削減状況

✓ 2024年度のCO_2排出量（※）削減実績 **55.1%削減**

✓ 2024年9月に、2030年度削減目標を**50%から75%へ**見直し

（※） Scope1及びScope2、削減目標はいずれも2013年度比

【当行グループのCO_2排出量】



ESG評価の向上

いずれの指標も改善傾向

■ **FTSE Russell ESGレーティング** **2.8**（`24年度基準）
（`23年度：2.7 、`22年度：2.1）

■ **CDP気候変動スコア** **B**評価（`24年度基準）
（`23年度：B- 、`22年度：C ）

カーボンニュートラルに向けた取組み

■ **営業店店舗のZEB化**

✓ 新築店舗：CO_2排出量を実質ゼロとする『**ZEB** ※1』店舗へ

✓ 既存店舗：改修によるZEB化に取り組む

2025年7月、既存店舗（東支店）の改修で
四国の金融機関初、ZEB認証（**Nearly ZEB** ※2）を取得！

※1 ZEB：Net Zero Energy Buildingの略称、省エネ+創エネで建物のエネルギー収支ゼロを目指した建物
※2 Nearly ZEB：省エネ+創エネで75%以上の一次エネルギー消費量の削減を実現している建物

■ **電気自動車の導入**

✓ 電気自動車を計22台を保有、うち5台は災害時に蓄電池としての活用が可能（2025年度：2台導入）

生物多様性保全への取組み

✓ 瀬戸内海の生物多様性保全や地域経済活性化を目指し、**「瀬戸内渚フォーラム」**へ参画

CO_2吸収源となる藻場の再生により**ブルーカーボン**を創出

職員のエンゲージメント向上

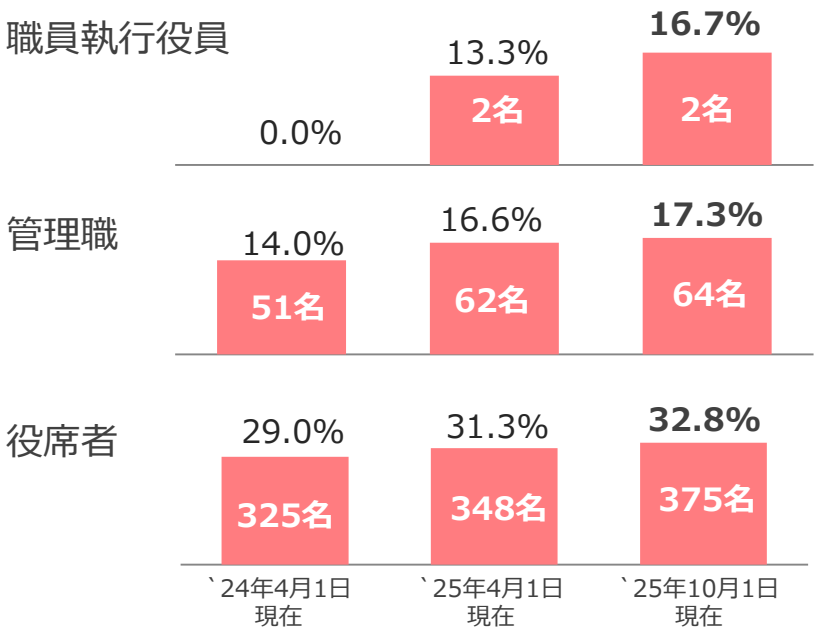
株主資本コスト抑制

百十四銀行

- 経営層と職員との対話の機会を増やし、誰もが安心して活躍できる職場環境づくりを実践しております。
- 健康経営や女性活躍などの社内環境整備や人材育成に注力しており、複数の評価認定を取得しています。

女性の積極登用

2025年4月　初の女性執行役員２名登用！



管理職：営業店の次長・本部のグループ長以上
役席者：営業店の支店長代理・本部の調査役以上　※各々嘱託職員は除く

男性の育児休業取得推進

	`24年3月期	`25年3月期	`25年9月末
取得率	100%	100%	100%
平均取得日数	6.3日	11.2日	11.4日

頭取や役員と若手行員の対話

- ✓ 2024年10月 **「タウンホールミーティング」**を初開催！
- ✓ エリア毎に**「ミニタウンホールミーティング」**を順次開催中(2025年度上期は7回開催)

健康経営・職場環境への評価

健康経営優良法人「ホワイト500」

- ✓ 優良な健康経営を実践している企業として2025年3月に上位の認定を取得（通算6年）

プラチナくるみんプラス

- ✓ 子育てサポート企業として、2022年11月に香川県内企業で初めて取得

えるぼし

- ✓ 女性活躍に関する取組みが優良な企業として2016年7月に四国内企業で初めて取得

既存事業の深化・新事業への挑戦

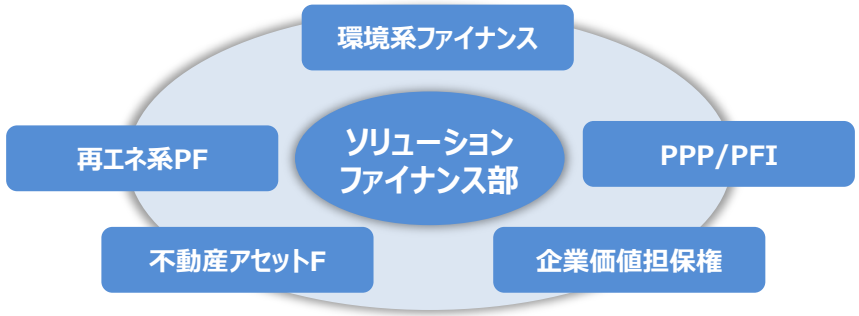
期待成長率向上

百十四銀行

ソリューション型ファイナンス機能の強化

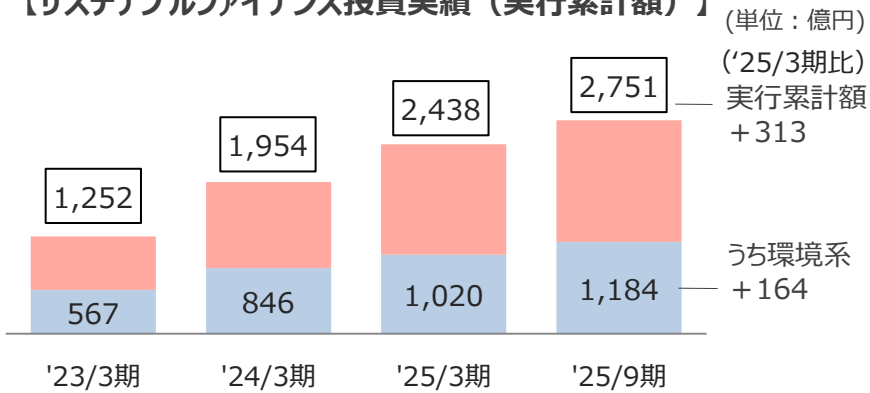
✓ 2024年10月、「ソリューションファイナンス部」を新設

ファイナンスによる質の高いソリューションを提供



ファイナンスに領域における収益力を増強

【サステナブルファイナンス投資実績（実行累計額）】



2030年度までの目標**5,000億円**（うち環境系**2,000億円**）

新事業への挑戦

ベトナム現地法人

そこにある、星をつかみに。
HBCV HYAKUJUSHI BUSINESS CONSULTING VIETNAM
2023年7月設立

✓ 海外進出ニーズに対し、ニーズのヒアリングから進出支援及び伴走支援まで一貫したサービスを提供

2025年9月まで　受注件数**23**件

投資専門子会社

HyGIA Fund Management
百十四共創投資株式会社
Hyakujushi Growth Investment & Assistance
2024年4月設立

✓ 事業承継に取り組むお客さまを中心にエクイティ供給やハンズオン支援を実施

2025年9月まで　出資件数**3**件

地域活性化事業子会社

114 地域みらいデザイン株式会社
2025年4月設立

✓ 銀行法の枠にとらわれずに、地域のニーズを踏まえた様々な地域活性化事業に挑戦

上記子会社３社の社長には40歳代の職員を登用

新しい世代の力で新事業に挑戦！

地域の魅力向上への取組み

期待成長率向上

百十四銀行

● 地域課題の解決に自ら取り組み、地域と百十四グループの持続的成長を実現します。

「瀬戸内国際芸術祭2025」を応援

当行グループを挙げて開催を応援！

- ✓ 当行オリジナルＰＲ名刺の活用
- ✓ 職員の有給休暇取得による芸術祭堪能
- ✓ 作品受付ボランティア活動　など

観光コンテンツの造成

観音寺市「金運ツーリズム」造成

新たな観光客を誘致！

「訪日外国人向けガイド」育成

松盆栽全国トップシェア
高松市鬼無町

空海の生まれた
善通寺市

地域の魅力を発信！

地域活性化事業子会社を通じた取組み

114地域みらいデザイン株式会社

- ✓ 土庄町「まちなか道の駅と廃校活用等による離島のまち再生事業調査業務委託」事業者として選定（2025年7月）

旧土庄町役場、旧淵崎小学校、中央公民館の活用方針について調査検討を実施中！

地域のスポーツ振興を応援

当行運動部が地域の未来を担う子どもたちを応援！

地域のDX化推進

「e-Tax」「eLTAX」（※）の普及を通じて、納税者の事務効率化と地域のDX推進を推進

税務署・地方公共団体との協働	行員の意識醸成	お客さま向けセミナーの開催

※e-Tax：国税に関する申告・申請・納税にかかるオンラインサービス
eLTAX：地方税に関する申告・申請・納税にかかるオンラインサービス

地域の魅力向上への取組み

期待成長率向上

百十四銀行

● 地域課題の解決に自ら取り組み、地域と百十四グループの持続的成長を実現します。

金融リテラシー向上、金融トラブル防止の取組み

✓ 高校等で「金融教育授業」を開催

受講者数累計 **15,370名**
（2023年4月～2025年9月）

目標 **3万名**（2030年度まで）

✓ 警察署と連携し、特殊詐欺被害防止に向けた啓蒙活動を実施

窓口等での詐欺被害未然防止 **18件**
（2022年以降）

小学校で職業体験会を開催

✓ 地元企業と協力して小学校で職業体験会を開催

地元企業の魅力を若い世代へ

将来的に地元で活躍する人材を育成

企業版ふるさと納税支援

特別名勝「栗林公園」の魅力向上

瀬戸内国際芸術祭の運営

（写真は活用事例）

✓ **香川県内15市町**（全17市町）と企業版ふるさと納税に関する連携協定を締結

紹介件数累計 **58件**
（2023年12月～2025年9月）

地域企業の若手人材定着を支援

（2024年度より制度開始）

✓ 四国アライアンスで地元企業で働く若手社員の奨学金返済を支援する取組みを実施

2024年度 採択実績
当行 **10名**、四行合計**43名**

2025年度 募集
当行 **20名**、四行合計**80名**をめざす

ご説明内容

百十四銀行

百十四銀行について

決算ハイライトについて

企業価値の向上に向けて

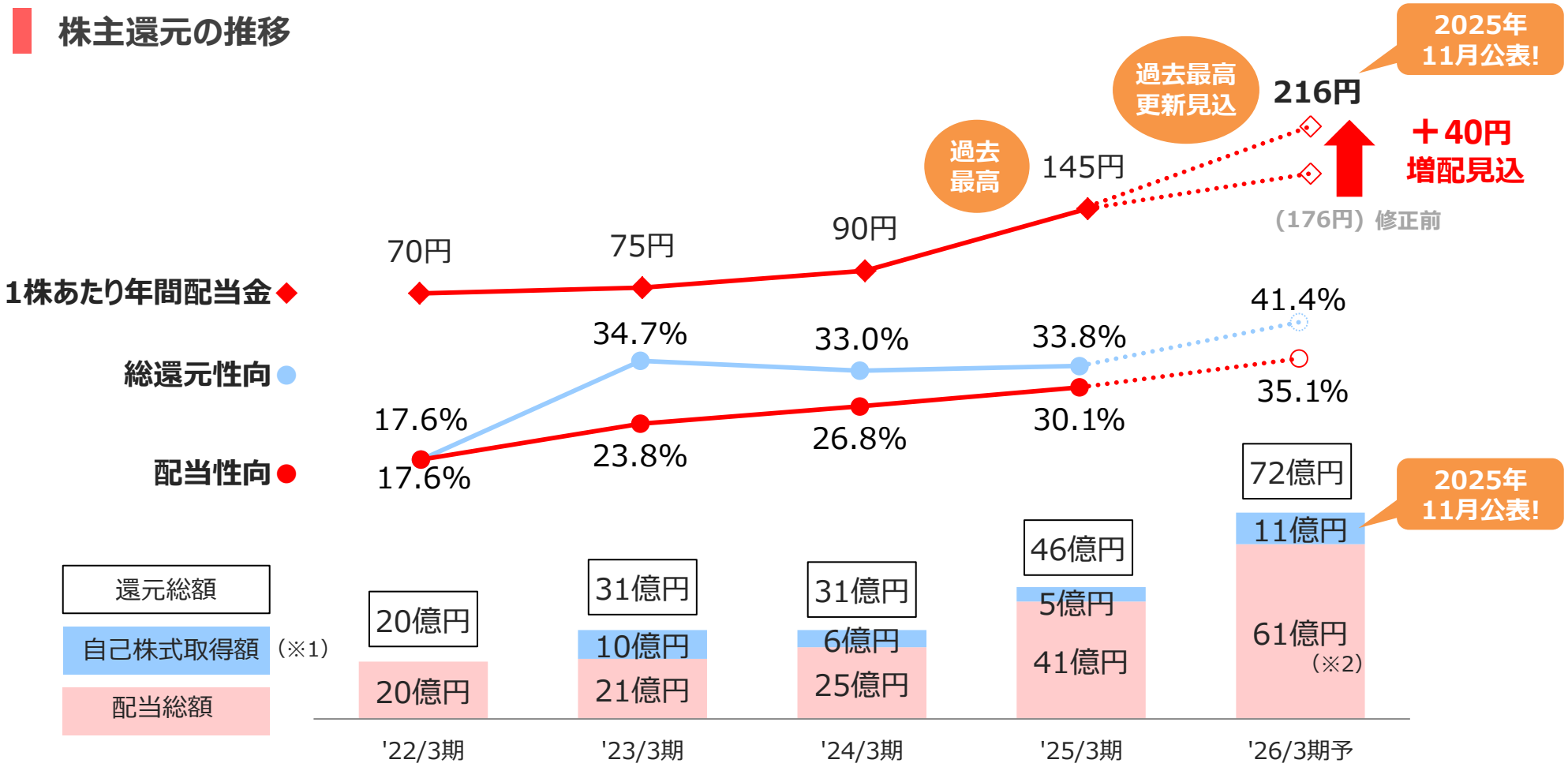
株主還元について

配当実績及び見通し

百十四銀行

- 2025年11月に、1株当たり年間配当金の40円増配及び上限11億円の自己株式取得を公表しました。
- 1株あたり年間配当金は2期連続で過去最高を更新見込です。

株主還元の推移



(※1) 自己株式取得については取得時期の総還元性向に計上
(※2) 2026年3月期の配当予想（1株あたり年間配当金216円）に基づく配当総額

株主優待制度

百十四銀行

- 株主優待制度では、香川県産品やSDGsにつながる寄付などをご用意しております。
- 2026年3月を基準として、10,000円相当の優待コースを新設しました。

■対象：3月末現在で100株以上を1年以上継続保有（※）いただいている株主さま

保有株式数	継続保有期間	優待内容（カタログギフト）
100株以上500株未満	1年以上	2,500円相当の香川県産品など
500株以上1,000株未満	1年以上	5,000円相当の香川県産品など
1,000株以上　（※新設）	1年以上3年未満	5,000円相当の香川県産品など
	3年以上	10,000円相当の香川県産品など

※1年以上継続保有とは、基準日（3月末日）とその前年の3月末日及び9月末日の株主名簿に同一株主番号で100株以上の保有記録が3回連続して記載、または記録されていることとします。

配当+優待利回り　4.39%

（1,000株、3年以上継続保有の場合、2025年9月30日基準）

ダイヤモンドZAi　2025年9月号「桐谷さん激推し！配当利回り3%超の優待株」に掲載されました。

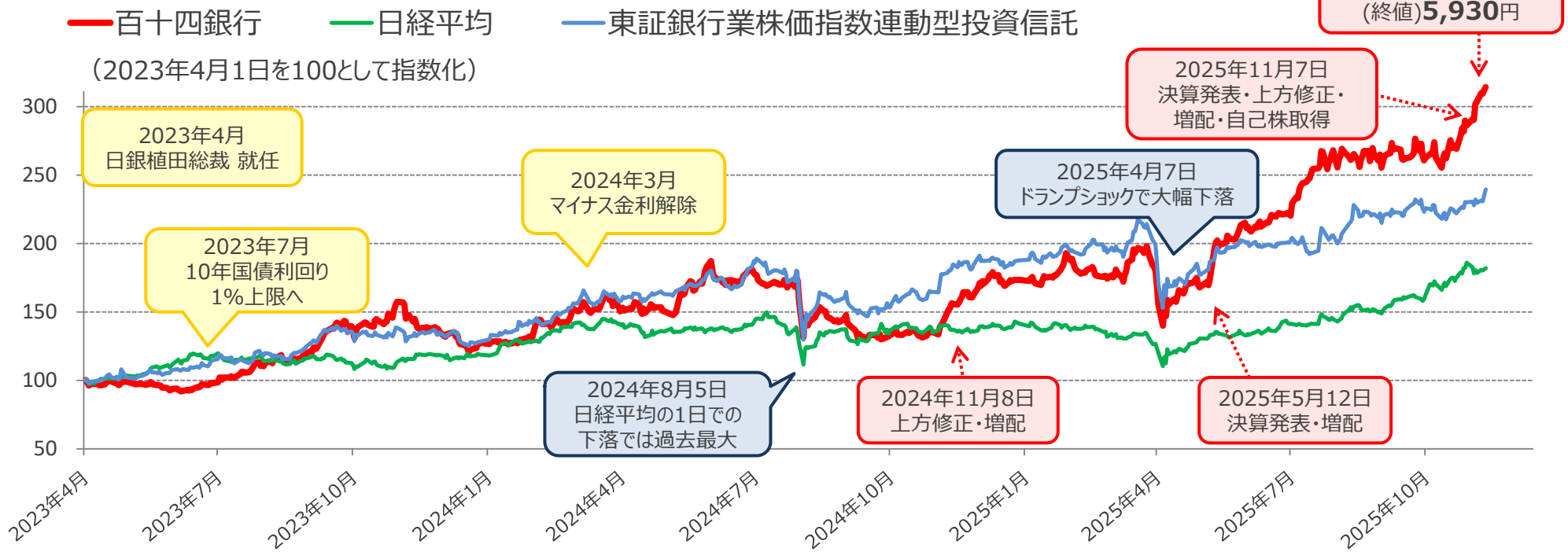
香川県産品

寄付コース

株価推移

百十四銀行

株価（終値）の推移　2023年4月1日から2025年11月13日



主な株式指標（2025年11月13日時点）

	2024年3月期末	2025年3月期末	2025年11月13日
株価（終値）	2,977円	3,475円	5,930円
時価総額	857億円	994億円	1,698億円
PER	8.85倍	7.22倍	9.64倍 ※1
PBR	0.25倍	0.30倍	0.48倍 ※2

※１　PER（株価収益率）＝株価/1株当たり利益（2026年3月期通期予想）
※２　PBR（株価純資産倍率）＝株価/1株当たり純資産（2025年9月期）

配当利回り（2025年11月13日時点）

当行	プライム市場平均
3.64% ※3	2.11% ※4

※3　1株あたり配当金予想216円/株価5,930円
（2025年11月13日終値）
※4　「日本取引所グループ」の公表データより
（2025年10月 プライム市場・加重平均利回り）

本日のまとめ

百十四銀行

好調な業績

- ✓ 第2四半期ベースで2期連続の増収増益！
- ✓ 2026年3月期は過去最高益の着地を予想！
- ✓ 2026年3月期通期のROE5%達成が視野に！

株価上昇・株主還元の強化

- ✓ 株価は1年前から約2倍の水準に！
- ✓ 年間配当金は2期連続で過去最高を更新見込！
- ✓ 新たな優待コースで株主優待制度を拡充！

本説明資料やＩＲ全般に関するご意見・ご感想・お問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社百十四銀行　経営企画部　経営企画グループ

電　　話	０８７（８３６）２７８７
ＦＡＸ	０８７（８３６）３６７７
Ｅ－ｍａｉｌ	keiki.kikaku@114bank.co.jp
ＨＰｱﾄﾞﾚｽ	https://www.114bank.co.jp/

◆ 事前に百十四銀行の許可を得ることなく、本資料を転写・複製し、または第三者に配布することを禁止いたします。

◆ 本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。

◆ 本資料に記載された事項の全部または一部は予告なく修正または変更されることがあります。

◆ なお、本資料に含まれている将来の業績に係る記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、将来の業績は経営環境の変化等の様々な要因により変動する可能性がありますことにご留意ください。